

見通し:

(仮訳)

別紙

バグダッド日誌(12月12日)

○ ある日の演習雑感...

- ・ 先日、食堂にて朝食を食べていると、隣の部屋の情報関係者の多くがボディアーマーと弾倉を8個程度装着していた。一瞬、情勢の変化か?と思ったが、射撃訓練かもしれないし、彼等だけの訓練もありうる。とりあえず食堂を出て周囲の状況を確認した。すると、ほとんどのものは、個人携行火器と最低限の弾倉のみである。警備態勢の変化を示す、放送や掲揚旗(態勢が変化すると緑→赤となる。)ものはない状態だった。
- ・ あわてて事務所(私の職場)行ったが、事務所の勤務員には特段変化はなかった。しかし、隣の部屋の情報関係者はやはり装備が増加しているようである。周囲の者に聞いたが、何もないという。「うーん、これは気にしてもしょうがないか!」と業務を開始した。
- ・ 1030、我が班のA少佐(米軍)が、所要を終え事務所に帰ってきた。すると「みんな、聞いてくれ。演習が開始されるから、ヘルメット、ボディアーマー及び弾薬を準備しろ。」と指示した。直ちに日本事務所に連絡し、手順通りに装備を整え、事務所に戻った。ちなみに態勢が変化すると当然ながら屋外には装備がなければ出ることはできないし、食堂は閉鎖されるので配分食や備蓄食料を食べることになる。
- ・ 再び、業務開始。A少佐が我々の装備を確認したくらいで、特に指示はなく、同室の他国の少佐と演習はいつ終了だろうかなどという話が出るくらいの状況であった。
- ・ ここまでは、私の想定内であった(数々の失敗を繰り返し、迅速に対応できるようになってきた...涙)。前回と少し違ったのは、1430、米軍上等兵が事務所に来て「人員はいかがでしょうか。特に夜勤で現在休養中の方はどうでしょうか」と確認行為があったことだった。過去の演習時で私が見た米軍の様子は、3割程度不在者がいたとしても、気にかける様子はなく、特段の指示もなく、ただ、態勢を上げてたというだけのようであった。(あくまで私が見た範囲で感じたことですが...)
- ・ この時、私は、空自時代(もちろんまだ航空自衛官です。)の事を思い出していた。1人にこだわりたくはないが、呼集後、1人でもいなければ規則に定められた態勢が完了しないと、探し回った事、等々...
- ・ ふと我に返ると、机上のパソコンには、バグダッド市内で自爆攻撃が発生し、多数死亡の記事がでている。準備指示があろうがなかろうが、日本のLOは常に所要の準備をしているから、いつも通り勤務していればいいのだが、もし、私が部隊行動の指揮をとる立場ならどうするだろうか?と、ほーんの一瞬だけ考えた振りをしました。